

自治労きよと

発行所・自治労京都府本部 〒604-0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル2F
TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918 発行人・岡本哲也 編集人・森本尚秀
定価 一部10円 本紙の購読料は組合費に含まれています。

10 / 15
2023
第867号

ご意見をお寄せください

自治労京都府本部では、組合員のみならずのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。
TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918
E-mail: jichiro@jichiro-kyoto.gr.jp
http://www.jichiro-kyoto.gr.jp/



▲府本部大会で決意表明する川田さん

月5日告示
日投票

八幡市長選挙

川田翔子さんの推薦を決定

府本部は堀口市長の退任に伴う八幡市長選挙において、川田翔子さん(33歳・無所属)の推薦を決定した。
川田さんは京都大学卒業後、京都市役所で7年間勤務し、自治労京都市職での組合経験もある。組合との対話ができる市長候補の必勝に向け、組合員のみならずのご協力をお願いしたい。



▲府本部の闘争勝利に向けたガンパロー

誰一人取り残されない社会の実現へ

組合員の声を集め、運動の前進を

府本部は9月30日、第88回定期大会を京都市中京区のウイングス京都で開催した。
2024・25年度運動方針と当面の闘争方針など7つの議案が提案され、すべての議案は原案どおり可決された。また、役員選挙を行い2024・25年度の府本部執行体制を確認した。出席議員は22単組から122人、女性参加率は31・15%となった。

大会は午後1時に開会。京都競輪労組の田中代議員と宇治田原町職の衣川代議員を議長に選出した。岡本執行委員長の主権者あいさつに続き、森下本部長政治政策局長、門川京都市長など、10人の来賓から激励・連帯のあいさつを受けた。議長による大会成立宣言のあと、執行部より2023年度諸報告が行われた。一般経過報告、会計決算報告、会計監査報告がされ、質疑討論を経て承認された。

執行部より提案された。①2024・25年度運動方針(案)、②当面の闘争方針(案)、③一般会計・特別会計予算(案)、④男女がともに担う府本部アクションプラン(案)、⑤自治労京都市本部臨時執行委員・特別執行委員・顧問の定数と選任(案)、⑥監査法人の承認(案)、⑦府本部救援委員の選出(案)。すべての議案は質疑討論・採決を経て、原案どおり可決された。



▲田中・衣川大会議長

2024・25年度の2年間の任期となる役員選挙が行われ、岡本執行委員長をはじめとする役員・執行委員・会計監査委員32名が信任された。その後、大会宣言を採択し、最後に森本新副執行委員長の発声による力強い団結ガンパローで大会を締めくくった。

【日時】 月(日金) 日(土) 2日目は自由行動
【内容】 国会見学・岸まきこ参議院議員との意見交換ほか
※各単組を通じて府本部まで申し込みを。

「白砂青松」を守る



天橋立グリーン大作戦 & 交流バーベキュー大会

府本部は9月23日、京都市北部・天橋立で天橋立グリーン大作戦&交流バーベキュー大会を開催。府内各単組から組合員や家族など44人が参加した。天橋立は5000本の松並木と白い砂「白砂青松」が約3・6km続く。年間約300万人の

観光客が訪れる景勝地だ。京都市内や南部単組からはバス一台を貸切り、朝8時に京都駅を出発。北部単組からは現地集合とし、京都府丹後土木事務所や宮津市役所の協力を受け、10時からのボランティア活動を開始した。



はじめに京都府丹後土木事務所より作業内容の説明を受けた。作業内容は、松並木や浜辺の清掃や落ち葉を拾う理由として、本来松は栄養の少ない砂の上でも育つ植物。

ははじめに京都府丹後土木事務所より作業内容の説明を受けた。作業内容は、松並木や浜辺の清掃や落ち葉を拾う理由として、本来松は栄養の少ない砂の上でも育つ植物。

今後は落ち葉や雑草などが腐植土となり栄養過多な状況で反対に枯れやすくなるという。丹後土木事務所では、天橋立の「白砂青松」を守るため「天橋立まもり隊」という取り組みで保全活動に取り組んでおり、府本部の取り組みもその一環となった。清々しい天候の中、約1時間半の作業で大量のごみ袋の松葉が集まった。



後は、セントラレ・ホテル京丹後に移動しバーベキューを楽しんだ。普段なかなか話す機会のない北部や市内・南部単組同士の交流に、和気あいあいと充実した時間が流れた。今後も継続していきたい。

双思交

朝晩めっきり涼しくやっと秋らしくなった。「ひやおろし」が美味しい季節だ。「ひやおろし」とは、冬に仕込んだ日本酒をひと夏ゆっくりと熟成させてから、涼しくなった秋口に出荷する日本酒のこと。日本酒には「生酒」と「火入れ(加熱処理)した酒」の2種類がある。生酒は搾ってから出荷まで火入れされていない酒で、出来立てのフレッシュな味わいが楽しめる代わりに、酒質が不安定なため地元での消費や冷蔵庫のある一部酒販店のみで販売される。火入れした酒は、加熱処理を行うことで発酵を止め、味の変化を落ち着かせ、美味しい状態をキープすることができるといわれる。通常の2回目の火入れを行わないのは、造り手が「いまだ！」と思った最高の状態に熟成したお酒のまろやかさや風味を余すことなく味わってもらうため、「冷や(日本酒の温度で常温)」の状態です(出荷する)ことから、「秋あがり」や「秋晴れ」といった情緒的な呼び方もされる。秋刀魚やキノコ類といった旨味の多い秋の味覚と合わせておいしく楽しもう。(N)

労働

デイリーセント・ワークを
実現するために

デイリーセント・ワークとは

ディーセント・ワークは、1999年の第87回国際労働機関(ILO)総会で「21世紀のILOの理念・活動目標」として提起された。正式な訳語は「働きがいのある人間らしい仕事」。

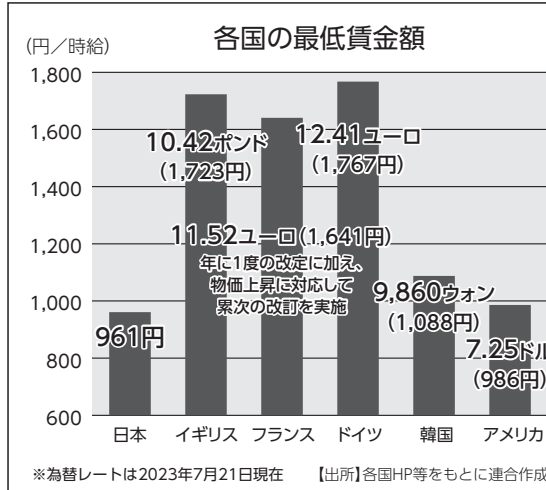
安定して働いていますか?

近年、「フリーランス」と言われる働き方が増えている。ある調査機関では500万人とも言われている。専門性とスキルで個人事業主として自由度が高く、副業としても認められることに加え、AIの活用が進み、職種によっては新たなサービスや就業地を選ばないなど、その幅の広さも増加の要因である。

連合が掲げる4つのチェック項目

①「権利が保障される仕事」、②「十分な収入を支払いの遅延などをめぐる見出す仕事」、③「適

切な社会的保護が与えられる仕事」、④「十分な仕事があること」。



た病気やケガ、育児・介護などで仕事十分にできないと、その分収入は得られないといったリスクも考えられる。さらに個人事業主であるため労働者保護である労働法が適用されない。フリーランス保護法が施行されているが、安定して働きたいという点では、見直すべき点が多いのではないだろうか。

最低賃金は全国加重平均で時間額1000円を超えたが、年収200万円以下ではワーキングプア(働く貧困層)生活保護と同レベル(192万円)と言われる現在では、仮に時給1000円でフルタイム1年間働いたとしても、ようやく200万円に手が届くほどだ。

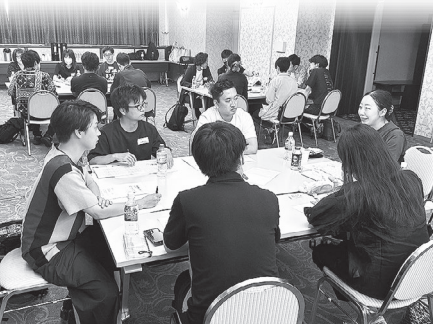
その仕事とプライベートのバランスは? 1980年代と比較すると長時間労働は減少傾向にあるものの、業種・職業によっては必ずしもそうではない。新型コロナウイルスが2020年6月に施行された、2022年4月には中小企業への適用されているにもかかわらず、相談件数は減少していない実態だ。昔から言われている「困ったときはお互いさま」の心を失って

その仕事に働きがいを見出し、労働の対価である給与を豊かな生活と生きがいに還元できるライフスタイルが新たな労働意欲につながる。そんなサイクルをめざすべきである。

誰かが「デイリーセント・ワーク」を実現するために、職場、社会が変わらなければならない。多様な働き方を認めるだけでなく、多様な働き方を支える仕組みを作っていくことが、真の働き方改革につながるのではないだろうか。

久保 真光
連合大阪オルガナイザー
《デイリーセント・ワークの解説動画》

政治・政策について学習



近畿地連青年女性協会 サマーセミナーin京都

近畿地連青年女性協会は9月9〜10日の2日間、KKR京都に在りて、サマーセミナーを開催。府本部から8人(うち女性4人)が参加した。

初日は、自治労本部総合組織局の林鉄兵強化部長が講師に迎え、「自治労が取り組む政策実現」と題した講演を受けた。林局長をはじめ自治

労本部がおこなう政府の政策に対する要請行動等について、体験談を交えて話を聞いた。

二日目は、「国政の課題と私たちの取り組み」をテーマとした政治の課題と私たちが大事に答を受けた。

て」と題し、自治労組織内の鬼木まこと参議院議員から講演を受けた。鬼木さんは、参議院議員の活動内容や、単組や自治労本部の組合活動で行き詰った時に政治が必要になること、それに伴う組織内議員の必要性について力強く訴えた。

最後に、鬼木議員への質疑をグループワークで討論。若者の政治離れについて質問し、「若者だけではなく、政治は生活に密着することを知らせてもらうことが大事」と回答を受けた。

2024年度ジェンダー平等推進
キャッチコピーの募集

自治労はこの間、男女平等推進を重要課題と位置付け取り組みを続けてきた。2024年度以降は新たに決定した「自治労ジェンダー平等推進計画」を基本に取り組みを進める。この取り組みを進めるために、下記の通り、「ジェンダー平等推進・啓発用ポテッカー」のキャッチコピーを募集する。組合員のみさんの積極的な応募をお願いしたい。

- 1. キャッチコピーのテーマ
①職場におけるジェンダー平等を進める際の課題を意識できるもの
②男性の育児参画、家族介護参画の促進を啓発する内容
③LGBTQ+を含めたジェンダーハラスメントやセクシュアル・ハラスメントなどの防止を呼びかけるもの
2. 入選作品の取り扱い
①特賞(2本): キャッチコピーをポテッカーに採用。
②入選作品には、薄謝進呈。
特賞(2本) 商品券: 各10,000円分
佳作(6本) 商品券: 各3,000円分
3. 応募締切 11月17日(金) 府本部必着
4. 応募方法 下記内容を記載の上、府本部まで送付ください。
【①単組名・支部名②お名前③連絡先④キャッチコピー⑤キャッチコピーの意図・意味(簡単でOK)】

じちろうマイカー共済 自動車総合補償共済
カーライフを応援する、頼れる補償
ここがおすすめ 4つのポイント
1 団体割引32.5% 組合員ならではの団体割引適用で掛金負担を軽減!
2 契約者=組合員で、同居の家族の車も加入できます!
3 自治体職員に心強い、起訴前の弁護士費用にも対応する特約をセット!
4 長期間、無事故の優良ドライバーなら最大22等級・64%割引!
くみん共済 NEWS 5120A146
なるほど納得!
不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。
くみん共済(全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済 推進本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合